



天文台だより

銀河の森天文台
2015 夏号
Vol. 68

3月18日、11年ぶりに低緯度オーロラが出現！



陸別町ポイントマムで撮影された低緯度オーロラ
2015.3.18 1:10JST 名古屋大学太陽地球環境研究所撮影

2015年3月18日未明、2004年11月8日以来、約11年ぶりに低緯度オーロラが出現し、北海道陸別町でも観測されました。今回の低緯度オーロラは、非常に弱い光で、肉眼では確認できない明るさでした。

左の写真は、陸別町ポイントマムにある名古屋大学太陽地球環境研究所HFレーダーサイトで撮影された低緯度オーロラです。白丸の部分に赤い低緯度オーロラが写っています。カラー写真は天文台HPでも紹介しています。

北海道で見られる低緯度オーロラは必ず北の空に現れます。太陽活動もまだ活動期で、今後も低緯度オーロラが出現する可能性があります。「宇宙天気ニュース」などで、大きな磁気嵐やオーロラ予報が出た時は、ぜひ北の空を注目してみてください。

「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

ほとんど諦めかけていた、今期の太陽活動下で北海道にオーロラが来てくれること。この2年間に、「今晚こそは見られそう」という日が5回ほどありましたが、どの日も曇りか大雪のため、悔しく思っていました。そして、運命の日、3月17日の夜中から翌18日未明にかけ、弱いながらその光がやってきたのです。この日の特殊性、磁気嵐の特徴などは、機関誌「天界」6月号に書きました。思えば、この天文台がこの地にできたことと、当地でオーロラが観測されたことは密接に関係があります。

さて、オーロラと言えば、この天文台の準備段階で、何度も当地を訪れました。講演会を催し、質問を受けました。次に掲げるのは、当時陸別中学校の生徒さんたちから出たかわいらしい質問の一部です。現在30歳代半ばを過ぎている質問者たちはこのリストを見ていったいどう感じるのでしょうか。

- ・オーロラは、なぜ陸別を選んだのですか。
- ・オーロラは、どんな匂いを出しますか。
- ・宇宙はどこまであるのですか。
- ・科学者になることは、どれくらい大変なことですか。
- ・この地にオーロラが降ることと、ここが日本一寒いこととどのように関係があるのですか。

まだまだ沢山ありました。



(上出洋介館長)

7月11日(土)、第7回陸別スターライトフェスティバル開催！

銀河の森天文台開館10周年を機に毎年開催している陸別星祭り「陸別スターライトフェスティバル」が今年で第7回を迎えました。今年は、7月11日(土)に下記の内容で開催します。また、この日は開館時間を24時(好天時は翌2時)まで延長しますので、来館者が持ち寄った望遠鏡と合わせてにぎやかに星空を楽しむことができます。望遠鏡をお持ちの方はぜひご持参下さい。

開催日時：7月11日(土) 14時～24時

参加方法：予約不要(入館料のみ)

※ 陸別町民は入館料無料です！

プログラム

19:00 開催挨拶

19:15～ 講演会

名古屋大学太陽地球環境研究所副所長 草野完也教授
演題：「何かおかしいぞ、最近の太陽」



20:30～ コンサート フルートとバイオリンの調べ
アンサンブルグループ「奏楽(そら)」



24:00 閉館

※ 天体観望会は常時開催しています

暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
7月 1日	3:43	19:14	14.5	18:00	3:03
7月 15日	3:53	19:08	28.5	3:09	18:06
8月 1日	4:10	18:52	16.1	19:01	4:59
8月 15日	4:25	18:33	0.5	4:52	18:34
9月 1日	4:44	18:05	17.5	19:25	7:31
9月 15日	5:00	17:40	1.8	6:36	18:30

夏は土星が見頃です！



今年の土星は、てんびん座の中で明るく輝いています。

大型望遠鏡では、土星の輪まで良く見えます。ぜひ、ご来館下さい。

天文行事&暦

7月

- 2 ○満月
- 7 小暑(24節気:太陽黄経105°)
- 10 金星が最大光度(-4.5等)
- 11 陸別スターライトフェスティバル
- 16 ●新月
- 23 大暑(24節気:太陽黄経120°)
- 31 ○満月

8月

- 5-16 天の川と夏の天体観望会
- 8 立秋(24節気:太陽黄経135°)
- 10, 11 天文台特別開館
- 12, 13 ペルセウス座流星群観望会
- 13 ペルセウス座流星群が極大
(PM3時 最大60個/時)
- 14 ●新月
- 23 処暑(24節気:太陽黄経150°)
- 30 ○満月

9月

- 1 海王星が衝(7.8等, 視直径2".4)
- 4 水星が東方最大離角
(光度:0.2等, 離角:27° 08')
- 8 白露(24節気:太陽黄経165°)
- 12 町民星空コンサート(ギタークラブ)
- 13 ●新月
- 16-23 天王星・海王星と秋の天体観望会
- 18 町民星空コンサート(リコーダークラブ)
- 21, 22 天文台特別開館
- 22 金星が最大光度(-4.5等)
- 23 秋分(24節気:太陽黄経180°)
- 26 星空コンサート(サンクチュアリ単独ライブ)
- 26, 27 名月観望会
- 27 中秋の名月
- 28 ○満月

夏のイベント情報 !!

☆天の川と夏の天体観望会

天の川周辺にはたくさんの星団・星雲があり、天の川が良く見えるこの時期に観望会を開催します。また、てんびん座の中には土星も見えていますので、望遠鏡では土星の輪も楽しめます。

開催日時: 8月5日(水)~16日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

☆ペルセウス座流星群観望会

ペルセウス座流星群が8月13日の午後3時に極大時刻を迎え、これを前後して流星が多く見られると予想されるため観望会を開催します。

開催日時: 8月12日(水)、13日(木)

説明会: 午後7時30分から

☆天王星・海王星と秋の天体観望会

秋の星座の中に、天王星と海王星が隠れています。この2つの惑星は肉眼では見えませんが、望遠鏡では丸く見え、緑や青の色までわかります。遥か彼方の惑星や秋の星座の天体をぜひ見に来て下さい。

開催日時: 9月16日(水)~23日(水)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜・祝日のみ)

☆名月観望会

今年の中秋の名月は、9月27日です。15cm大型双眼鏡で見る「月」は格別です。デジタルカメラや携帯カメラで簡単に月面を撮影できます。ぜひ、ご来館下さい。

開催日時: 9月26日(土)、27日(日)

説明会: 午後7時30分から



今夜、宙を見上げて - M57・リング状星雲 -

こと座の中にある惑星状星雲・M57は、リングの形をしていることからリング状星雲と呼ばれています。

この星雲は星が寿命の最期を迎え、星を形成していたガスを放出しながら消えゆく姿で、太陽が50億年後にたどる姿とも言われています。中心には白色矮星があり、そこから発せられる紫外線によって星雲が照らし出されています。リング状に見えるのは、実際には球状の殻のように放出されているガスの端が厚くなったところを見通しているためとも考えられています。

望遠鏡で見るとリングの姿をはっきり見ることができます。距離: 約2600光年 (算)



天文台からのお知らせ

☆ 8月10日・11日、9月21日・22日は、月・火曜日ですが、特別開館いたします。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館 (銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp